



保育防災の取り組み

～駒沢こだま保育園～

看護師 木間 翠

当園の紹介

- 東京都世田谷区
- 平成27年4月1日 創設
- 構造/木造 2 階建（屋上有）
- 建物床面積/296.59㎡
- 定員46名 在籍45名
- 対象者：0歳～6歳児
- 休園日：日曜・祭日・年末年始
- 基本開園時間：午前7時15分～午後6時15分
【延長保育】午後6時15分～午後8時15分



駒沢こだま保育園

KOMAZAWA KODAMA NURSERY SCHOOL



当園での防災への取り組み

- 毎月の避難訓練（地震・火災・水害・停電など）
- 屋上の正しい使い方
- 防災備蓄品の紹介と試食の案内
- 備蓄用品の点検と補充



1期生からの引き継ぎを受けて

- 地域や保護者を巻き込むこと
- 職員の意識改革
- 災害が起こったことを想定してのディスカッション

⇒この内容を意識した上で今年度に取り組むべき活動を考え実施した。



今年度に実施したこと

1. 職員の意識改革、ディスカッションの機会を作る
2. 保護者や外部への情報発信
3. 災害対策のための環境改善・定期点検



1. 職員の意識改革・ディスカッション の機会を作る

避難訓練のやり方を変える

- 日時を告知しない
- 保育活動中だけでなく、様々な時間帯での実施
(職員の少ない朝夕夜、登降園時間帯、午睡中、昼食準備中など)
- 停電訓練の実施 (電気がつかない環境に慣れるように)

1. 職員の意識改革・ディスカッションの機会を作る

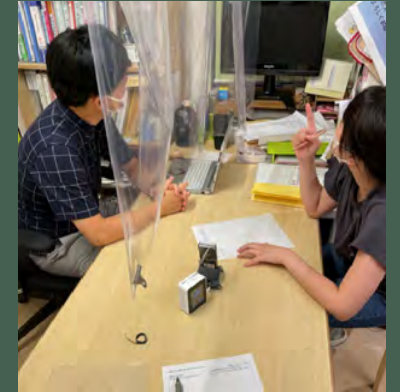
クラス・部署ごとに分かれての危険箇所確認
災害時の動き方のシミュレーション

- 職員会議の場で、危険個所の点検を部署ごとに行い、紙に書き出す。
- 実際の災害を想定し、職員の動き方を確認する。

⇒普段時間を設けて話し合う機会が少なかったため、実際の災害をイメージするという機会を作った。

- 避難バッグの中身確認、補充

⇒定期的に時間を設けてみんなで確認する時間を作る。



2. 保護者や外部への情報発信

- ホームページに防災専用ページを作成
 - 当園の災害対策・防災の取り組みについてまとめた。
 - 防災専用ブログを作成

駒沢こだま保育園



駒沢こだま保育園

KOMAZAWA KODAMA NURSERY SCHOOL

[アクセス](#) | [サイトマップ](#) | [TOPページへ](#)

お問合せ **TEL:03-5787-5980**

[保育園の紹介](#)

[子育て支援](#)

[子育てノウハウ](#)

[保護者の方へ](#)

[クラスブログ](#)

毎日更新クラスブログ

ぽかぽか



きらきら



すいすい



ようこそ！保護者さま

クラスブログは、保護者さまのみ
閲覧できます。

保護者さまでない場合は、
[こちらからログアウトしてください。](#)

今日の給食



「じりつ」と「きょうりよく」

じりつは自立と自律を意味し、それぞれの子どもの個性を生かし、各自が主体的であろうとすることを大切に考えます。
また、他の人と共に生きることが自分の喜びであると思えるようになることにも努めています。

新着情報

- 2023年1月24日 [【成長展のお知らせ・アンケートご協力お願い】](#)
- 2023年1月18日 [当園園児のご家族様による抗原検査実施と結果について](#)
- 2023年1月10日 [当園職員のご家族による抗原検査実施と結果について](#)
- 2023年1月6日 [当園園児のご家族様による抗原検査実施と結果について](#)
- 2023年1月4日 [保護中：★1月園便り&献立表★](#)
- 2023年1月4日 [【餅つきのご案内】](#)

安全管理・災害対策

安全管理・災害対策

安全な保育環境に向けて

駒沢こだま保育園では、子どもたちの安全を第一に、園全体で防災・防犯意識を高める活動をしています。

園舎への防災処置をはじめ、各種警報装置やAED等の救命セットの配備、災害グッズや非常食の備蓄など、万が一に備えたリスク対策を取っています。

他にも避難訓練や、防犯訓練などを定期的に開催し、非常時に適切な判断・行動が出来るよう、園全体で訓練に取り組んでいます。

園舎構造

平成27年竣工 震度6強、7程度の地震でも倒壊しない新耐震基準 準耐火建築物（イー2）

※構造設計一級建築士が構造計算をしています。

耐震・防災対策

- 大きな棚、メタルラック（動かせないもの）は全て固定済
- 室内扉のガラスは全て強化ガラス
- カーテンは防災製品を使用
- クロスは不燃クロス
- 防災頭巾は保育者が常に園児の側に配置
- 調理室は準耐火構造の壁と防火設備で区画

応急救護



救急箱（看護師管理）を配置



職員は全員普通救命講習修了



入口にAED設置



保護者対象にAED講習会を実施（年1回）



ブログ

1月 避難訓練 * 地震はいつ起きるのか、わからない”

2023.01.18

今日は12時頃に地震がきたことを想定した避難訓練を行いました。ばかばか組は食べている際中、かえで組は食べ始めようとしていたところ、すいすい組は準備の段階の時間帯です。地震はいつ、どんな時に起きるのかわかりませんので、今回はお昼に起きたときにどうしたらいいのかという視点を持って取り組みました。子どもたちもアナウンスを聞くと落ち着いて行動することができ、食べていた子どもでも冷静に防災頭巾をかぶり、外へ避難していました。“地震はいつ起きるのかわからない”ということが子どもたちにも浸透しているようです。

その後は屋上の使い方について再確認していただきました。屋上を楽しく遊ぶために、そして安全に遊ぶために、かえで組・すいすい組のお友だちと安全の確認、ルールの確認をしていただきました。

避難訓練dayその②お部屋が停電した！

2022.09.30



夕方には部屋が停電した想定でしばらく暗い状態で過ごしました。

最初は少し動揺した子どもたちでしたが、暗さに慣れてくるといつも通り遊び始めたり、「なんでくらくなったの？」と保育者に聞いたりする子どもたちもいました。

電気がついた後は、過去に起きた大地震の様子動画や写真を見て、地震の怖さについての話を聞きました。

そこまで暗い季節ではなかったので、いつも通り過ごせたのかなと思いますが、さまざまな季節や天候のパターンで停電を経験することも考えていきたいと思います。

2. 保護者や外部への情報発信

- 引き渡し訓練、第一避難場所への避難
- 非常食の在庫分の試食提供



3. 災害対策のための環境改善・定期点検

- ・危険箇所であげられた場所に、安全ロックバンドや滑り止めシートを取り付ける。

→避難経路の遮断防止、巻き込まれ事故の軽減



3. 災害対策のための環境改善・定期点検

- ・防災用品点検を兼ねて、屋上でおやつを食べる。





1年間の活動を通しての変化

1. 職員の意識改革・ディスカッションの機会を作る

これまでは、保育活動や現場の人数が少ないなどを言い訳に避難訓練をないがしろにする声が聞かれていたが、そのような言い訳が聞かれることなく、職員の行動や意識が変わってきていると、現場職員から声が上がっている。

現場でも少しずつではあるが、実際の災害をイメージした環境を作る工夫をしている（避難バッグの場所、子どもたちとの会話、など）。

様々な時間帯・時期・天候に避難訓練を実施するようにしたことで、これまで気づけなかった対策が必要とされているということに気づいた。

1年間の活動を通しての変化

2. 保護者や外部への情報発信

引き渡し訓練の際に、緊急引き渡しカードに関する保護者からの意見が具体的に聞かれるようになった。

(カードの記入欄の見直し、引き取り者の見直し、など)

実際に情報を発信するツールは作成したが、保護者の方から具体的に意見を聞く機会があまりなかったため、どのように捉えているかというところの情報収集は実施できていない。

1年間の活動を通しての変化

3. 災害対策のための環境改善・定期点検

職員間でのディスカッションの場を通して出てきた課題をもとに、すぐに実施できそうな対策から行っていた。まだすべての改善はできてきたわけではないが、更にレベルアップした取り組みを行っていききたい。

備蓄用品の点検と保育活動を絡めたことで、食育にも繋がられ、子どもたちにとっても楽しい活動の一環となった。

子どもたちの変化

職員が考えている以上に、子どもたちが訓練に適応している様子があった。昼食中や午睡中でも、固執しすぎる様子もあまり見られずに落ち着いた訓練を実施した。

放送の内容を聞き、自分で自分の身を守る意識ができてきており、防災頭巾を他のお友だちに配ったり、泣いているお友だちに声をかけたりする様子も見られていた。

屋上でおやつを食べるという活動を通して、普段積極的でない子どもも進んでおやつをもらいに行く姿があった。

終わりに

- 自然災害や危険なことはいつどんな時に起こるかわからない。大人はもちろん、子どもたち自身にも自分の身を守る手段を身につけてもらいたいと考える。
- 今後も活動を継続し、職員誰もが同じ意識で取り組める環境を作っていくこと、更にレベルアップしたディスカッションや取り組みを実施できるように工夫したい。
- 今回の学びに際し、携わってくださいました皆様のおかげで今日を迎えられました。誠にありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました

